

グルジア、アルメニア訪問記

佐竹ゼミ

佐竹弘靖ゼミ(教養ゼミ)シルクロードを歩くの学生11人は2月、コーカサス地方のグルジアとアルメニアの2カ国を訪問し、現地の生活や文化を体験した。また現地の大学生とお互いの国や大学を紹介し、交流を深めた。参加した学生の体験記を紹介する。



トビリシ自由大学で現地学生と。後列左端が佐竹教授、同左から4人目が中村さん、前列右から3人目が平塚さん

平塚 喜子(法4)

グルジアは旧ソ連の構成国で450万人の人口を持つ歴史ある国です。近隣諸国との資源問題や民族問題などの歴史と向き合いながら発展の道を歩んでいる自然豊かな国でもあります。いたるところに旧ソ連の文化や風習の名残があります。滞在中、トビリシ自由



アルメニア人大虐殺の慰霊塔で花を捧げる人。炎は永遠に燃え続ける



日本文化に高い関心

グルジア

グルジアの学生からは、日本のお気に入りの本、命学んでおり、日本への関心の高さを感ずりました。グルジアの学生たちは、川端康成著『伊豆の踊子』を読んだことがない、拙い英語でもコミュニケーションをとることは可能です。日本を出て、と触れ合うことをお勧めいたします。

◇グルジア・アルメニア旅行日程表◇

- 2月14日 夜、成田空港出発
- 15日 午後、グルジア・トビリシ到着
- 16日 トビリシ自由大学で交流会
- 17日 アルメニア・エレバンに移動
- アルメニア観光
- 18日 エレバン観光
- 19日 エレバン国立大学で交流会
- 終了後、ホームステイへ
- 20日 朝、ホームステイ先の学生と登校
- エレバン観光
- 21日 グルジア・トビリシへ移動
- グルジア観光
- 22日 午前、市街観光
- 午後、グルジア出発
- 23日 夜、成田空港到着



▲ アルメニアの学生たちと

中村 紀子(文4)

現代の日本に住む私たちにとって理解できないこと。決してその事実は目を背けてはならないと思

理解し合う心が大切

アルメニア

トビリシから車で5〜6時間、コーカサス山脈を望みながら、アルメニアの首都エレバンに着きました。アルメニアはトルコの北東に位置し、人口約310万人のコーカサス山脈に囲まれた国です。コニャックが有名で、世界で一番美女が多

2日目は学生交流会。現地では日本語を教えるという長谷川有彦先生に協力していただいた交流会です。私たちは、日本について発表し、歌を歌い、駄菓子、おもちゃ、そしてほうとうを作

りました。それらは意外に好評で驚きました。アルメニアのみなさんはあり、乗り合いバスに乗って訪ねました。ホスト

この貴重な体験を提供してくれた佐竹先生、アルメニアの長谷川先生、ガイドのロザさんをはじめ、お酒や料理を振る舞って

お互いに話したい、文化が知りたいという気持ちがあれば意思疎通はできるといことが分かり、楽しく過ごすことができました。

外国語のススメ

LL研究室

—●20●—

ロシア語

石川 達夫 文学部教授

ロシア語はインド・ヨーロッパ語族の中のスラヴ語派に属する言語で、スラヴ語派はさらに東スラヴ語群、西スラヴ語群、南スラヴ語群の三つのグループに分かれ、そのうちロシア語は東スラヴ語群に属します。もともと一つであったスラヴ語が分化したのは1000年ころのことです。個々のスラヴ語が別個の言語として独自の発達を遂げたのは過去千年くらいのことにはすぎません。したがって、スラヴ諸語は互いに近い言葉であり、特に東・西・南それぞれのスラヴ語群内の言葉は近い親戚のような関係にあります。ですから、三つの語群の中からそれぞれ一つの言葉を習得すれば、すべてのスラヴ語をある程度理解できるようになることも夢ではありません。私自身の経験で言えば、普段自分

ロシア語(スラヴ語)の勧め

▲ チェコのプラハで
の研究に使い、読み書き話することができるのはチェコ語とロシア語なのですが、チェコ語と同じ西スラヴ語群に属するスロヴァキア語は、聞いてもかなり分かるので、チェコ人だけでなくスロヴァキア人とも話ができます。同じ語群に属するポーランド語やソルブ語もある程度分かります。東スラヴ語群に属するロシア語について言えば、同じ語群に属するウクライナ語とベラルーシ語もロシア語に近いですし、ウクライナとベラルーシはかつてロシアと共に旧ソ連を構成していたなどの歴史的事情から、実はウクライナ人とベラルーシ人でロシア語を第一言語とする人々が非常に多いのです。そのため、私はウクライナ人やベラルーシ人も、ふつうにロシア語で話したり、メールをやりとりしています。*続きはLL研究室のホームページで